

高畠町では、町民の災害への備えを促す「高畠町

避難場所の位置確認はもちろん、日頃の備えなど、

突然やってくる災害に備え、必ず目を通し、家族

防災マップ」を各家庭に配布しております。

さまざまな情報を集約しています。

で確認・共有しておきましょう。

※いずれも高島町内で受信できる周波を

応災情報の 入手方法 1-2 高畠町防災マップを 更新しました

令和3年3月に発行した防災マップ の内容を更新しました。

近年、全国各地で風水害や地震によ る災害が頻発しています。災害から命 を守るためには、自分が生活する地域 にどのような危険が生じるのかを知り、 普段から災害に備えることが大変重要 です。いざというときに慌てることが ないように、この防災マップを活用し て、対策を立てておきましょう。



防災マップのお問い合わせは、 高畠町総務課危機管理室へ (0 2 3 8 - 5 2 - 3 7 4 4)

リアルタイム情報はPC・スマートフォンで

防災情報は、インターネットを通じてリアルタイムで得ることができます。防災マップ の各所にアクセス用の二次元コードを貼りつけました。スマートフォンなどで読み込んで、 瞬時に見たい情報を入手できます。

避難準備 (日頃の備え 3-4

4

避難行動

5-6

Will be

風水害•洪水

7-8

土砂・地震

9-10

(FI)

避難所一覧

1

防災マップ

12-32

3

各種連絡先際パメモ

33-34·巻末



を閲覧できます。

≪二次元コードでカンタン検索≫

国土交通省や気象庁、県などが発表している防災 情報のホームページにアクセスできます。

≪水位情報もリアルタイムで≫

防災マップ内の水位計のマークが ある場所では、水位情報を公表し ています。また、カメラのマーク がある場所は映像を見ることがで きます。





地域の危険箇所をわかりやすく

≪想定される危険を一目で≫

- ①土砂災害警戒区域、②洪水浸水想定区域と浸水深、③家屋倒壊等氾濫想定区域
- ④ため池ハザード情報を重ねて表示し、想定される危険を一目で確認できます。

≪災害注意エリアを表示≫

令和元年台風19号のときの 道路冠水などの状況を「災害 注意エリア」として表示。避 難経路の参考としてください。



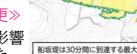
≪浸水想定区域を追加≫

県が管理する河川(和田川、 函川、棒川、下有無川、奈 良沢川、蛭沢川、上有無川、 大滝川、稲子川、小黒川、 土会川) の浸水想定区域が 追加指定されたことから、 それらの区域を反映しまし



新防災マップ(令和7年10月改訂)





の浸水深を掲載しています。

船坂堤は30分間に到達する 浸水範囲を掲載しています。

≪ため池ハザード表示の変更≫

浸水深の表示を省略し、影響 範囲のみの表示としました。

防災マップを活用し、災害に備えましょう

防災マップを活用して、事前に災害や避難についてイメージすることができれば、いざ というときに慌てずに行動することができます。次の手順で確認してみてください。

●自宅(勤務先)の位置を確認しよう

自宅(勤務先)を地図に書き込み、その周 りの災害の危険性を確認しましょう。

2避難場所を確認しよう

最寄りの避難場所に印をつけ、道のりを確 認しましょう。最寄りの避難所までの道が 通れない可能性を考え、複数の避難場所を 確認しましょう。

❸危険個所を通らない避難経路を考えよう

浸水や土砂災害の危険性があるような箇所 を避けて、避難経路を設定しましょう。

◆実際に避難場所まで歩いてみよう

地図で選択した避難経路が安全かどうか、避 難にかかる時間はどのくらいかを確認しま しょう。

⑤よく行く場所も確認しよう

自宅や勤務先だけでなく、自分や家族がよく 利用する施設も同じように確認しておきま しょう。



※防災マップはあくまでも想定図です。雨の降り方や土地の状態によっては、地図に示され た区域以外でも洪水や土砂災害が発生することがありますので、ご注意ください。

※災害によって最適な避難場所が異なります。避難所一覧(防災マップP11)を確認しま しょう。

※状況によって、在宅避難や親せき・知人宅への避難が望ましい場合があります。